

**ネットワンシステムズ、新たにセキュリティオペレーションセンターを構築
セキュリティインシデントの検出から緊急遮断まで
24時間365日リアルタイムで提供するセキュリティ監視・分析サービスを販売開始
～高品質なセキュリティ分析基盤と専任のセキュリティアナリストチームを新たに整備
高度化するサイバー攻撃の迅速な検出・分析・対処を実現し、監視・運用負荷を軽減～**

ネットワンシステムズ株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役 社長執行役員：吉野 孝行、以下 ネットワンシステムズ）は、新たにセキュリティオペレーションセンター（SOC）を構築し、セキュリティインシデントの検出・分析から脅威と特定された通信の緊急遮断まで24時間365日体制で提供するセキュリティ監視・分析サービス「マネージド・セキュリティ・サービス」を本日より販売開始します。主な販売対象は大規模企業・官公庁・自治体・大学です。目標売上は3年間で15億円です。

近年、サイバー攻撃の高度化が急速に進み、各種セキュリティ製品の導入のみならず、インシデントの迅速な検出・対処が非常に重要になっています。しかし、高度化したサイバー攻撃への対処は、スキルや人的負荷の面から企業・組織にとって非常に難しい課題となっています。

「マネージド・セキュリティ・サービス」は、ファイアウォールやIDS/IPS（不正侵入検知・防御システム）などのセキュリティ製品のログをリアルタイムで収集・監視し、専任のセキュリティアナリストの分析を通じて緊急度・危険度が高いと判断したインシデントを検出した場合に、即座にお客様に通知するものです。さらに、お客様との協議の上で、脅威と特定された通信をSOCから遠隔で遮断し、速やかに脅威の拡大を防ぎます。

その他、ファイアウォールルールの設定変更やIDS/IPSのシグネチャやソフトウェア更新、死活監視・性能監視なども提供します。また、専用のWebポータルサイトを用意し、インシデントの対応履歴や検知した攻撃などを月次レポートとして提供します。

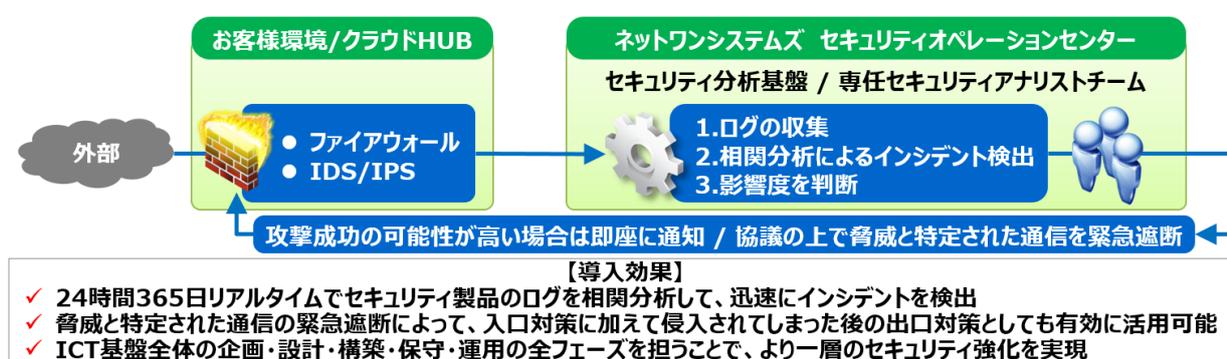
また本サービスは、プライベートクラウドとパブリッククラウドを安全に接続する「クラウドHUBサービス」と連携可能で、お客様のパブリッククラウド利用における脅威の検出・分析・対処においてもセキュリティアナリストの知見を活用可能になります。

お客様は、本サービスを導入することによって、24時間365日リアルタイムで、高度化するサイバー攻撃の迅速な検出・分析および対処を実現し、監視・運用負荷を軽減することが可能になります。

ネットワークシステムズは本サービス開始にあたり、新たに高品質なセキュリティ分析基盤を整備すると同時に、専任のセキュリティアナリストチームを発足してSOCを構築します。これによって、攻撃の有効性や影響度を考慮した高度な判定に基づく対処を可能にします。

さらにネットワークシステムズは、セキュリティの知見を活かしてお客様のICT基盤全体のライフサイクル（企画・設計・構築・保守・運用）の全フェーズを担うことで、より一層のセキュリティ強化を実現します。

なお、本サービスの対象機器は「Palo Alto Networks PA シリーズ」「Cisco ASA with FirePOWER シリーズ」「Cisco FirePOWER シリーズ」で、2017年1月からサービスを提供開始し、対象機器は順次拡大する予定です。



■ サービス価格（税抜）

メニュー	初期費用	月額費用
IDS/IPS 監視サービス	1,200,000 円/台	360,000 円~/台
次世代型ファイアウォール監視サービス	1,200,000 円/台	440,000 円~/台

ネットワークシステムズ株式会社について

ネットワークシステムズ株式会社は、お客様の情報インフラを最適化することで戦略的な情報活用を促進し、ご導入頂くお客様の先のお客様への貢献も見据えて支援する企業です。そのために、常に世界の最先端技術動向を見極め、その組み合わせを検証して具現化するとともに、実際に自社内で実践することで利活用のノウハウも併せてお届けしています。

（設立：1988年2月、売上高：1,451億80百万円〔2016年3月期連結〕）

詳細は www.netone.co.jp をご覧ください。

※ 記載されている社名や製品名は、各社の商標または登録商標です

<本件に関する報道関係各位からのお問い合わせ先>

ネットワークシステムズ株式会社 広報・IR 室：西田武史

Tel：03-6256-0616 / E-mail：media@netone.co.jp